



吉川三津子 議員

改善せよ 給食に腐った野菜の入荷

質問

学校給食に、鮮度の悪い野菜が入荷されている。野菜は鮮度が命。鮮度が悪ければ栄養価も落ち、給食を作る上で支障も出る。最近の状況は。

教育部長

毎朝、業者が搬入し、数量や賞味期限を確認している。最近の事例は、以下の通りであり、返品や交換したり、洗って使用した。

《1月、1社・3品目不良》
ジャガ芋にカビ。キュウリが腐敗。キャベツにカビ。
《2月、3社・3品目不良》

赤ピーマンが腐敗。ホウレンソウに汚れ。芽キャベツが規格外の大きさ。

《3月、1社・1品目不良》
キュウリの中が白くなっていた。

《4月、1社・1品目不良》
玉ねぎが腐って溶けてる。

《5月、1社・1品目不良》
パセリの一部に虫が多い。

《6月、1社・1品目不良》
ホウレンソウの一部に虫が多い。

質問

不良品の入荷を繰り返す業者には、ペナルティを科すべきでは。

教育部長

今まで明確な処分規定を定めていなかったが、9月より規定を作成し、業者に周知した。

質問

1ヶ月半前に入札をし、のちに業者は安いときに野菜を競り落とし、冷蔵庫に保管している。鮮度に問題が起きるのは当然であり、物資選定の仕方を改めるべきでは。

教育部長

安全でよい食材を供給できるように、良い方向に進める。



市江児童クラブは学校空き教室で

質問

市江児童館での児童クラブは、学校から遠い。学校の空き教室での実施にどう取り組んできたか。

福祉部長

検討してきたが、結果として現状のままということになっており、下校指導や交通安全の話も多くしている。

質問

天候も不安定で、落雷の危険もあるが、周辺には避難できる民家もない。1、2年生だけの集団下校もあり、特に学校の東地区の方は、こんな状況なら家で留守番をさせようとおきらめムードになっている。

質問

また、児童一人あたりの利用回数を調べたが、西川端小は年間21・8回。市江小は最低で13・2回と利用率が低い。女性の就労や、子どもの放課後の安全を奪っている。問題だという認識はないのか。

福祉部長

道のりが長く、道中に民家がないことは認識しており、利用しにくい話は聞いているが、必ずしも学校の近くにある必要はない。道のりが長いのは、いた仕方ない。

その他の質問

・出張時の日当廃止を
・介護要支援者を守れ 他